

教科目標

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

学習計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	よくみてかこう ・ 上ぐつ ・ 自分の顔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なものをよく見て描くことができる。 ・ 描きたいものを見つけ、楽しみながら取り組むことができる。 	5
5	キラキラ光る絵 ・ 自然光を利用した造形活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光を用いた造形活動に、積極的に取り組むことができる。 ・ 思いを広げながら、工夫して仕上げることができる。 	6
6	ひもでつくろう ・ ねん土をのぼしたりまいたり付けたりして、表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねん土のひもを使って、工夫しながら自分の思いを表すことができる。 	2
	きょうかしよびじゅつかん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすい美術作品を鑑賞することを通して、作品のよさについて友達と話し合うことができる。 	2
7	ざいりょう物語 ・ 身近なざいりょうの形や色を工夫しながら表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの思いを持ち、発想を広げながら表すことができる。 	4
9	ぬのから生まれた絵 ・ 集めた布をつかって、楽しい物を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形や色、大きさのちがう布から、おもいをひろげて、自分の感じたものを伸びやかにあらわすことができる。 	5
	秋のおくり物 ・ 形や色をとらえ、絵手紙に表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形や色をよく見て、バランスよく絵手紙に表すことができる。 	2
10	主人公になって ・ 物語を聞いてイメージをふくらませ、自分が好きな場面を選んで絵に表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語を楽しみ、進んで絵に表すことができる。 ・ 表したい場面の雰囲気が伝わるように、画面や色を効果的に表すことができる。 	8

11	コロコロコログラート ・ころがして遊ぶ物を作る。	・ 作る順序を考え、見通しを持って作ったり、 接続の方法も考えたりしながら作ることができる。	6
12	ハッピーカード ・開くと飛び出すカードを作る。	・ 伝えるメッセージを決め、その内容を仕組みと 合わせて工夫することができる。	6
1	木から生まれた世界 ・木版で工夫しながら表す。	・ 印象に残ったことを思い出して表現するこ とができる。 ・ 彫刻刀の彫りの違いを効果的に生かすこ とができる。	10
2			
3	作品をまとめよう ・一年間に学習した図工の作品をふり返 ってまとめる。	・ 一年間を振り返り、自分の描き表したい場面 を進んで絵に表すことができる。 ・ 画面の構成や色を工夫しながら書き表すこ とができる。	4
合計 60 時間			